

投資者の皆様へ

2025年11月13日



商 号	SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第 311 号
加 入 協 会	一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

SBI-Man リキッド・トレンド・ファンド

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

SBI-Manリキッド・トレンド・ファンド（以下「リキッド・トレンド」）はヘッジファンドの代表的なスタイルの一つである「トレンドフォロー」戦略に基づいて運用を行っています。「トレンドにフォローする」という名称が示す通り、各市場（債券・金利、通貨、株式、商品）が上昇トレンドとなっても下落トレンドとなっても、そのトレンドに追隨して収益獲得を目指します。

1. 基準価額等の推移（10月31日基準の週次レポートより）

日米株式市場は10月末まで上昇を続け、足元でも史上最高値圏で推移しています。米国ではAI関連企業の収益への強気な見通しや連邦準備制度理事会（FRB）の追加利下げへの期待、日本では高市政権の経済政策への期待が背景にありました。日米株式市場や金、銀価格の上昇トレンドに乗って、リキッド・トレンドの基準価額は8月6日の直近底値から10月31日までに22.2%上昇しました。

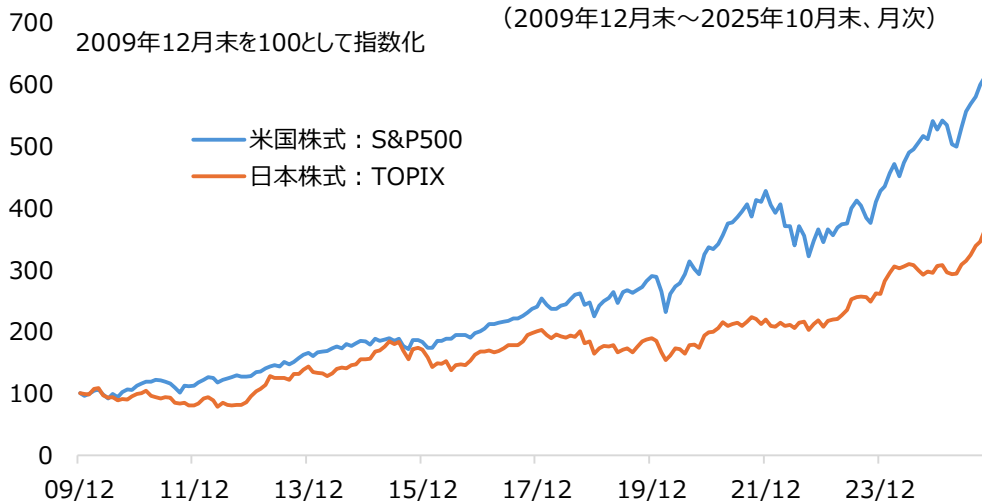


※基準価額は、信託報酬控除後の値です。

2. 市場動向

11月に入ると市場にAI関連株の過熱感を指摘する声が聞かれるようになり、日米株式市場は上値の重い展開に移行しています。このような環境で、内外株式のみを保有する投資家の間には「株式だけで大丈夫か」といった不安感が広がっているようです。このような不安感をお持ちの投資家の皆さまにおいては、次ページで示すようにリキッド・トレンドを株式と組み合わせることによって、長期的に安定した収益の獲得に期待をかけることができます。

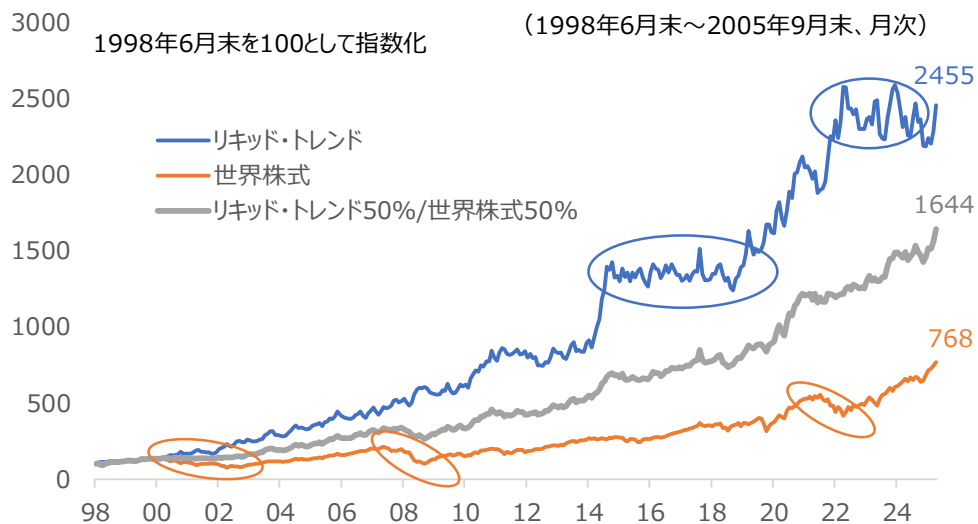
○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。



3. リキッド・トレンドと株式の組み合わせ

下のグラフは 1998 年 6 月末以降のリキッド・トレンドのパフォーマンスのシミュレーションです。シミュレーションとは過去の実績ではなく、リキッド・トレンドが使用している運用モデルを過去の相場の動きにあてはめた仮定の数字です。青がリキッド・トレンドのシミュレーション、オレンジが世界株式の実績、灰色はリキッド・トレンドと世界株式を 50%/50%で組み合わせた場合のシミュレーションです。リキッド・トレンド(青)だけでも過去のシミュレーションは良好な結果を示していますが、これまでのリキッド・トレンドと世界株式の組み合わせ(灰色)では変動が緩和される傾向が見られました。

2000-2002 年の IT バブル崩壊、2008 年のリーマン危機、2022 年のインフレ加速時に、世界株式(オレンジ)は下落していますが、リキッド・トレンド(青)は上昇しました。逆に、リキッド・トレンドが不調だった 2016-2018 年、2023-2024 年に世界株式は上昇しています。このように、過去のシミュレーションで補完的な動きを示したリキッド・トレンドと世界株式を組み合わせることによって投資家の皆さまのポートフォリオは長期的に安定した収益を獲得できる可能性があります。



「リキッド・トレンド」はシミュレーション、「世界株式」はモーニングスター世界株式配当込み指数、「リキッド・トレンド 50%/世界株式 50%」はリキッド・トレンドのシミュレーションに 50%、世界株式に 50%投資し、毎月末にリバランスしたと仮定したポートフォリオのパフォーマンス、米ドルベース、出所：マン・グループ・ジャパン、Morningstar

本資料は過去のデータやシミュレーションに基づくものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.85%(税抜 3.5%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.585%(税抜 2.35%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。

また、上記上限を超える場合があります。

- その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。